

中間報告書

令和3年10月15日現在

1 事業名 「繊維のチカラで繋げ。持続可能なモノづくり」

2 実施期間 令和3年4月23日～令和4年2月28日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

「繊維の産地 備中」の知名度を上げるとともに、繊維産業の活性化と持続可能なモノづくりの社会を実現することを目的として、次の事業を行う。

- 1) 産官学の連携により新たな繊維製品を生み出す「商品開発」の事業
- 2) 商品開発のプロセスに関わる学生への連携授業や県民を対象としたセミナーの開催等を行う「人材育成」の事業
- 3) 旅行会社と連携してモニターツアーなどを行い、プログラムの完成を目指す「産業観光の構築」に関する事業
- 4) 岡山県内の商業施設等において、繊維製品の新しい形を消費者に見てもらい、「繊維の産地 備中」を知らしめる「成果品の展示、PR活動」の事業

② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

	成果目標	現状（見込）
1, 商品開発	・新商品開発数 3点以上	試作品 19点 新商品 8点 素材開発 1点
2, 産業観光の構築	・プログラム (訪問先企業)数 3企業	プログラム完成 1企業 構築中 1企業
3, 人材育成	・連携学校数 (高校3校、2大学) ・セミナー教育 (参加者20名以上)	・連携学校数 (高校3校、2大学) ・セミナー教育3回実施 (参加者： 高校100名、一般28名)
4, 成果品の展示、PR活動	・商業施設・ホテル等 での展示	・商業施設一カ所 ・展示準備手配 ・アンケート調査（QRコード） 構築中 ・チラシ製作

1) 商品開発（資料1・P14）

- ・共同開発：企業と高校、大学のコラボレーションで試作品（製作中）
- ・共同研究：企業と大学のコラボレーションで素材開発（製作中）

2) 産業観光の構築（資料2・P15）

- ・プログラム完成：241Co.
- ・プログラム構築中：倉敷製帽
- ・バスの手配
- ・旅行会社との折衝：リョウビツアーズ、野村交通、ホテルグランヴィア等

3) 人材育成（資料3、4・P16～18）

- ・マーケティング教育（2件）：専門家のセミナー開催（オンライン開催）
- ・ファッションプロデュース教育（1件）：専門家のセミナー開催（高校授業）
- ・企業との連携授業（1件）：参加企業と高校との連携授業

4) 成果品の展示、PR活動（資料5・P19）

- ・「ICOTNICOT(イコットニコット)」の2階「TUTAYA」内に展示決定
場所：岡山市北区 運営会社：フェイスコーポレーション
期間：12月12日～12月19日（プレゼンテーション12月12日）
- ・展示会場でアンケート調査（QRコード）実施
- ・チラシ等の広告物：LAID-BACK DESIGN社

<今後、実施すること>

	今後の事業
1, 商品開発	新商品を製作中の企業1件の支援
2, 産業観光の構築	・旅行会社と連携して、プログラムを下見するツアーを実施 ・モニターを募って産業観光のツアーを実施 コロナウイルスの影響で実施を延期しているが、年内に実施予定。
3, 人材育成	ファッションプロデュース教育（1件）
4, 成果品の展示、PR活動	メディア等でのPR 展示会場のスタッフ募集

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

1) 商品開発

新商品の開発数の目標は2点以上であったが、今のところ試作品19点、クラウドファンディングによる商品開発8点である。また、企業と大学との研究開発が進んでおり、次年度以降に新商品の開発に繋がる可能性がある。

2) 人材育成

人材育成人数の目標は30人以上（教育研修の参加者数を想定）に対して、高校でのセミナー開催（生徒数20名教員1名）、マーケティング教育セミナー開催（28名）であった。オンライン開催のセミナーでは全国から応募があり、新しい繊維産業に対する関心が伺えた。

また、地元の産業に関心のある視聴者から活発な意見が出た。

セミナーを開催した高校からは生徒にとって地域の産業と連携する機会がもてたこと、生徒のモチベーションが上がったことなど評価をいただいた。さらに、学校と企業との今後の繋がり方について方向性を見出すことが出来たので、次年度以降の連携授業に繋がる可能性がある。

④ 課題等

1) 商品開発

企業が製作している中で、事情により点数が減少することも考えられる。

2) 産業観光の構築

観光事業については、数社の企業がコロナウイルスの感染を心配して中断したいと申し出があった。実施したい企業もあるため、調整中である。最終的に困難であれば、オンライン開催も検討しなければならない。

3) 人材育成事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、高校への外部関係者の立ち入りが禁止され、その結果生徒がコラボレーションをする企業にプレゼンテーションをすることができなかった。これは、生徒が自らのプレゼンをDVDに録画して企業に渡し、後日視聴してもらうことで好転した。

4) 成果品の展示

展示会場が新型コロナウイルス感染症の影響で閉鎖となった場合は、オンライン開催としなければならない。この場合は、NPO関係者の社団法人ホームページにて開催する予定である。同じく感染症対策のための会場スタッフの確保も課題である。

4 参考事項・資料

中間報告書収支予算書

その他資料（エクセル表、写真、アンケート用紙、セミナーチラシ）

事業計画書

① 団体名	特定非営利活動法人地域資源文化研究所
② テーマ区分	指定テーマ (5) ・ 自由テーマ *該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。
③ 事業名	繊維のチカラで繋げ。持続可能なモノづくり
③ 採択回数等	1 回 目 *令和2年度に採択され、継続する事業については、いずれかを○で囲んでください。 新制度の適用 ・ 経過措置規定の適用 (補助率4/5以内、上限160万円) (補助率1/2以内、上限100万)
⑤ 事業目的	<p>備中地域は背後に中国山地を有し、そこから瀬戸内海に下る豊かな水源を誇る広域都市である。古代よりこの地に受け継がれてきた産業は、やがて地形を育み人々の経済生活を支える柱となった。今日の繊維製品はそのような歴史的意義をもつ産業のひとつであるが、大きな歴史的転換期や時流、人々の生活スタイルや価値観の変遷により、その商品群は大きく形を変えつつある。</p> <p>また、近年、環境を取り巻く条件が世界的に変わってきたことから、人々が必要とするモノが多岐にわたっており、それらに対応する製品が確実に求められることが今後も予想される。</p> <p>繊維産業界においても、昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により厳しい局面を迎えており、短期的、かつ中長期的に繊維産業を支援する仕組みを整える必要がある。また、地域経済を支える人材も同時に育成することで、将来にわたって産業界に貢献し、繊維産業全体の活性化につなげる必要がある。</p> <p>したがって、本事業の大きな目的として次の三つを掲げる。</p> <p>① 備中地域の繊維産業を商品開発で活性化する ② 備中地域の繊維産業界に貢献する人材を育成する ③ 備中地域の繊維産業を観光によって盛り上げる</p> <p>これらにより、繊維企業の新しいものづくりを促し、交流人口や観光消費額等の増加、雇用の促進、次世代の人材育成を図る。</p>
⑥ 現状及び課題	<p>【現状】 新型コロナウイルス感染症による社会的・経済的不安から、地域の繊維産業において以下が問題となっている。</p> <p>① 繊維産業の受注減少、雇用問題（繊維産業の低迷） ② 新型コロナの影響による繊維製品に触れる機会の減少（イベントでの機会、教育での機会減少、リモート授業）</p> <p>【課題】 アフターコロナを見据えた①から③による地域活性化の促進と繊維産業のRe-start支援が課題と考えている。</p> <p>① 新たな商品開発 ② 観光要素を取り入れた繊維産業振興 ③ 次世代を担う人材育成</p>
⑦ 事業内容	① 商品開発 異素材（デニムや畳べり等）や異業種（日本酒など）とのコラボレーションや、「SDGs」の取組として、天然染料と繊維製品の組み合わせ

	<p>せなど、新たな製品の試作を産学が連携しながら行い、コーディネーターや専門家が現場指導やオンラインも駆使しサポートする。</p> <p>②産業観光の構築 旅行業者と連携し、協力企業等を見学するモニターツアーを実施し、体験型コンテンツをテーマとしたツーリズムの商品化の検討を行う。</p> <p>③人材育成 繊維産業の従事者と学生に対し、双方向を意識したマーケティング教育や産業ツーリズム等の必要な研修を行い、産学が交わる学びの共同体を構築する。 また、学生にモノづくりの実体験型プログラムを提供し、備中エリアの繊維産業を再認識することによって産業活性化の意義を理解し将来への職業観を身につけることをサポートする。</p> <p>④ 成果品の展示、PR活動 備中地域の繊維に関する開発力や品質の高さを県内外に広くPRするとともに、日常生活における繊維の「美」と「機能性」を感じてもらうため、県内外の消費者が集まる商業施設等でPR活動を行う。</p>																				
<p>⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応</p>	<p>*代替案の検討、事業縮小、事業中止など WEBサイトを通じたリモート開催に変更する。 当法人は、大学、社会人向けにオンラインでの教育研修等を数多く実施しており、IT技術者と相談しながら実施方法を変更することが可能である。</p>																				
<p>⑨今年度の成果目標と指標</p>	<p>メディアを通じて全国に産地の魅力や生活文化を広くPRすることで、コロナ禍が終息後の初動を速くすることができる。このため、観光客、消費の拡大に繋がる基礎となる。</p> <table border="1" data-bbox="432 1189 1460 1594"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>指標</th> <th>現状(数値)</th> <th>目標(数値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新商品の開発</td> <td>新商品開発数</td> <td>0</td> <td>3点以上(内1点は高校大学との連携)</td> </tr> <tr> <td>モニターツアーの開発</td> <td>プログラム(訪問先企業)数</td> <td>0</td> <td>訪問先 3企業</td> </tr> <tr> <td>人材育成</td> <td>連携学校数</td> <td>0</td> <td>高校3校 大学2大学</td> </tr> <tr> <td>人材育成(教育研修)</td> <td>参加者数</td> <td>0</td> <td>20人以上</td> </tr> </tbody> </table>	成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)	新商品の開発	新商品開発数	0	3点以上(内1点は高校大学との連携)	モニターツアーの開発	プログラム(訪問先企業)数	0	訪問先 3企業	人材育成	連携学校数	0	高校3校 大学2大学	人材育成(教育研修)	参加者数	0	20人以上
成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)																		
新商品の開発	新商品開発数	0	3点以上(内1点は高校大学との連携)																		
モニターツアーの開発	プログラム(訪問先企業)数	0	訪問先 3企業																		
人材育成	連携学校数	0	高校3校 大学2大学																		
人材育成(教育研修)	参加者数	0	20人以上																		
<p>⑩中期(数年)的な目標</p>	<p>①商品開発 前年度の見直しと製品のブラッシュアップを図り、より時代に沿ったモノを作ることを目標とする。 また、コラボレーションを基本に、より多様な企業が参入できるようなシステムまたはプラットフォームを構築する。</p> <p>②産業観光 観光者にも企業にも参加メリットがあるように改善し、多種多様な人々に受け入れられる魅力的なものにする。</p> <p>③人材育成 高校生や大学生、または専門学校生のモノづくりマインドを刺激し、時代に沿った製品群を生み出すプログラムを提供することで、地</p>																				

	<p>域の人材として貢献できる能力開発を実現する。</p> <p>同時に、NPO 活動に共鳴するインターンシップ参加者と協働する。</p> <p>④備中地域の繊維産業とモノづくりの歴史を海外へ向けて発信する。</p>
⑪長期的な目標	<p>事業を継続することで、岡山県内の繊維コラボレーション、あるいは繊維と異業種のコラボレーションが「当たり前」に起こっていく時流を興す。</p> <p>さらに、芸術(アート)性をもたせ、また、海外メディアへの発信により、インバウンドにも対応できるものと考えている。</p> <p>①商品開発 海外企業とのコラボレーションを視野に入れた企業の国際化を目指す。</p> <p>②産業観光 国内観光者のみならずインバウンドも視野に展開し、価値観の違いを考慮した、多様なツーリズムを目標とする。</p> <p>③人材育成 高校や大学、専門学校の科目に「地域産業を取り入れたモノづくり(仮称)」が採用され、常に新しい価値観を創造する教育に貢献できることを目標とする。</p> <p>また、NPO が主催する独自のインターンシッププログラムを提供し運営していく。</p>
⑫翌年度以降の事業展開の予定	<p>地域企業等の支援を得ながら、全国的な知名度を得るための取組を拡充する。</p>
⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント	<p>これまでの活動は、繊維製品がもつ「デザイン性」に焦点をあて、産地の製品群をアーカイブという形で展示することを主たる目的としおり、これについては、国内外から一定の評価を得ているものと考えている。</p> <p>本事業では、繊維産業に携わる「人」が持つ力に焦点を当て、「人の力」という新しい観点から専門性を活かすことで地域の魅力を最大限引き出し、未来産業としての繊維を広く周知することができると考えている。</p>
⑭想定される役割分担	<p>【団体】 企画・運営、連携事業の実施</p> <p>【県民局】 情報提供、広報協力・支援、助言など</p> <p>【その他】 教育委員会（高等学校との連携強化）、岡山県繊維構造改革組合（連絡網）倉敷ファッションセンター（企業との連携強化）</p> <p>【理由・期待できる相乗効果】 繊維の産地は幅広く、地域を網羅する組織とネットワークを作ることによって、産学の連携が行き届くものと期待される。</p>

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
R3.6	キックオフミーティング	倉敷芸術科学大学ほか (Web 参加含む)	企業 10 社 高校 3 校 大学 2 大学
R3.7	[人材育成] 企業対象セミナー (1 回目)	未定	20 名程度
	[産業観光] モニターツアー下見	備中県民局管内 2~3 か所	10 名程度
R3.9	[商品開発] 中間報告会、審査会 内見会 (1 回目)	未定 岡山市内商業施設	
	[人材育成] 企業対象セミナー (2 回目)		20 名程度
	[産業観光] 中間報告会	未定	
R3.11	[産業観光] モニターツアー	備中県民局管内 2~3 か所	30 名程度
R3.12	[商品開発] 内見会 (2 回目)	岡山市内商業施設	
R4.2	終了報告会	未定	

＜記入上の注意事項＞

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください (例：〇〇市文化センター、△△市内)。
不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。
不明な場合は未記入で構いません。

資料2、令和3年度備中県民局提案型協働事業・観光事業について（アンケート）

以下、ご記入ください。

貴社名 _____

ご担当者様 _____

- 1, 本年度の観光事業に参加していただけますか？
・() したい ・() 今回は見送る
- 2, 貴社が企画される産業観光の内容についてお伺いします。見学コース・体験コースのどちらですか？
・() 見学コース ・() 体験コース ・() 両方とも
- 3, 観光所要時間はどれくらいですか？（おおよそでけっこうです）
・() くらい
- 4, 金額設定はいくらくらいですか？
・() くらい
- 5, 対象と考える観光客の年齢層は何歳くらいですか？
今回の事業は修学旅行生とファミリー層を想定して企画していますので、できればそれらを対象とした観光をご検討いただきたいと思います。
・() 歳くらい
- 6, 一度に観光できる最大人数は何人くらいとお考えですか？
・() 人くらい
- 7, 観光内容は、本事業のコンセプトである「持続可能な」「SDGs」「コラボレーション」に当てはまりますか？具体的な内容を記入してください。
・()

*ご協力いただける企業様をバスで見学する下見を計画しております。

参加旅行会社（予定）：リョービツアーズ、野村交通、ホテルグランヴィア、観光関係者

繊維の地域 プロデューサー養成講座

繊維のチカラで繋げ。持続可能なモノづくり。

マーケティング、イノベーション等ファッションビジネスで活用できる理論を理解し、実践的な力を融合して特色ある地域の新たなモノづくりを創出するプロデュース能力を養います。

共同開発

備中地域の繊維関係企業＋大学・高校による “コラボ開発”

備中エリアに現存する「繊維製品」の新しい形を地域企業と大学・高校でコラボ開発。製品がもつ産地の歴史および美と機能性を考え、色々な切り口から新たな価値を創出します。

セミナー

令和3年 **9月25日** 土
13:00～16:00

参加無料
定員20名

基本的な商品開発から地域のブランド化まで
「プロデュース能力を
高めるための理論を学ぶ」

- ・マーケティング・イノベーション・総括編
- ・オンラインワークショップ

場 所 オンライン（お申込み方法は裏面へ）

ふじさわ なおたけ

講 師 **藤澤 直武氏**

デスティニー経営事務所代表

セミナー

令和3年 **10月2日** 土
13:00～16:00

参加無料
定員50名

中学生で起業した社長

「実践事例から学び
プロデュース能力を養う」

- ・親子起業について
- ・感覚過敏研究所について
- ・常識をぶっこわすオンラインワークショップ

場 所 オンライン（お申込み方法は裏面へ）

かとう じえい

講 師 **加藤 路瑛氏**

㈱クリスタルロード代表取締役／感覚過敏研究所所長

「成果展示会・プレゼンテーション」

地域企業と大学・高校のコラボレーションにより生まれた新しい「繊維製品」について展示、プレゼンテーションを行います。

※状況により、予定が変更となる場合があります。

参加無料
予約不要

プレゼン
テーション

令和3年
12月12日 日
(時間未定)

成果品
展示

令和3年
12月12～19日 日

場 所 イコットニコット 〒700-0023 岡山市北区駅前町1丁目8番18号

講師紹介 (オンライン開催)

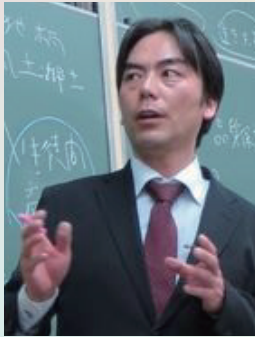
セミナー

基本的な商品開発から地域のブランド化まで

「プロデュース能力を高めるための理論を学ぶ」

参加無料
定員20名

令和3年 **9月25日** 土 13:00 ~ 16:00



藤澤 直武 (ふじさわ なおたけ) 氏
デスティニー経営事務所代表

・マーケティング・イノベーション/
・オンラインワークショップ etc

中小企業診断士、兵庫県立大学大学院経営研究科修了。慶應ビジネススクールケースメソッド普及研究室公認インストラクター。日本経営診断学会、日本ビジネスマネジメント学会会員。

ケースメソッドによる多面的思考を実社会に普及させるべく、MBA 早わかり塾 (神戸商工会議所専門家)、富山高志塾、広島県6次産業化高度人材育成など、企業経営者や社会人の人材育成を行うほか、高知県高岡中学校のケース授業構築を支援し、書籍「討論授業が中学校の授業を変える」にも登場、兵庫県立大学非常勤講師として産学連携支援等を行う。令和3年に兵庫丹波の爽り・魅力ある地域づくり構想 (丹波県民局地域ブランド戦略) 策定に尽力。

セミナー

中学生で起業した社長

「実践事例から学びプロデュース能力を養う」

参加無料
定員50名

令和3年 **10月2日** 土 13:00 ~ 16:00



加藤 路瑛 (かとう じえい) 氏
(株)クリスタルロード代表取締役
感覚過敏研究所所長

・起業のいきさつ
・現在行ってる繊維関係のビジネスについて
・ワークショップ etc

中学生社長として2018年12月、12歳時に親子で(株)クリスタルロードを創業、2020年1月に感覚過敏研究所を設立し、感覚過敏の課題解決に取り組む。また、マスクがつけられない人のためのマーク、せんすマスクなどコロナ社会における新しい課題にも取り組む。

2021年6月代表取締役に就任。現在は、感覚過敏の人々が痛みやストレスのない衣服の開発や生地開発の研究も行っている。

オンラインセミナー参加申し込み方法

下記イベント申込サイトより、お申込みください。

※申込はサイトでのみ受け付けています。電話などでの申し込みはお受けできません。ご協力をお願いします。

<https://forms.gle/KiB4mCMmYKqH9cdH8>



QRコードはこちら

主催：NPO法人 地域資源文化研究所
Institute of Japanese Regional Cultural Resources

岡山市北区表町一丁目1-8-1102

E-mail ourlives914@yahoo.co.jp

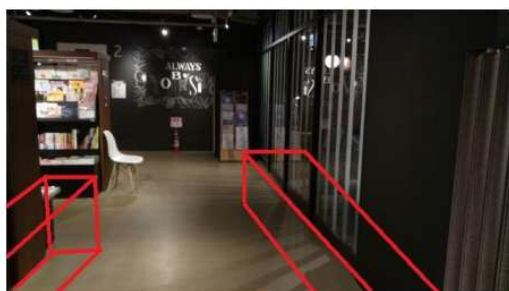
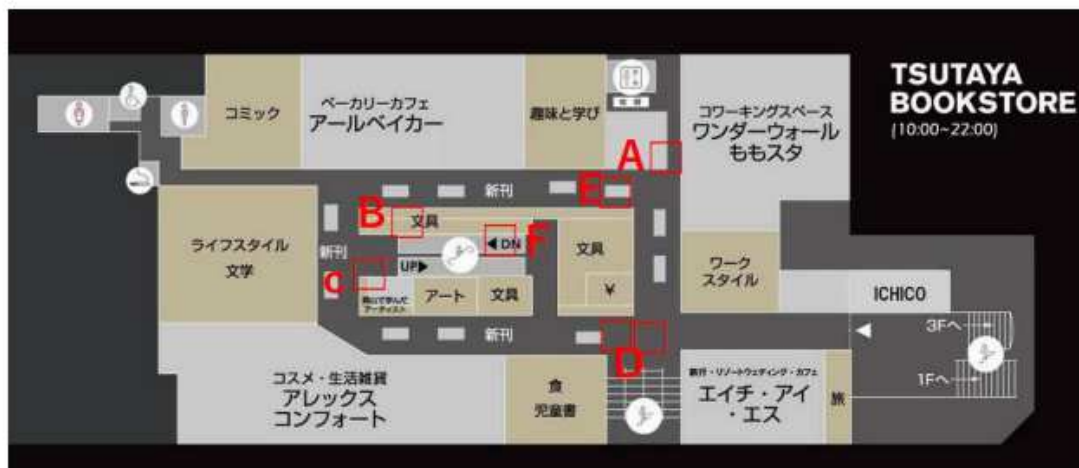


実誠 勤礼

実誠 勤礼

資料 5, 展示会場 : ICOTNICOT

配置図(仮)



A



B

